

# ミステリ読書案内

2024. 6. 11 発行元

第581号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

## 齋藤栄「ベスト表」(再掲)

1960年代から息の長い活躍期間の中で数多くのミステリ作品を世に送り出した齋藤栄。常に「本格もの」らしさを意識した内容で、ノベルス全盛の時代に『タロット日美子』シリーズなどを手掛けた。

### 《齋藤栄作品のベスト表》

1. 飛鳥十字殺人事件
2. 東北新幹線殺人旅行
3. 死角の時刻表
4. 洞爺王将殺人旅行
5. 殺意の時刻表
6. 赤蛇家の惨劇
7. 古都殺人事件
8. 珊瑚樹の殺人
9. 日本国有鉄道殺人事件
10. 北海道恋の推理日記
11. 函館江差旅情殺人
12. 将棋駒殺人事件 (短)
13. 巨人機が消えた
14. 犬猫先生探偵記
15. 鎌倉薪能殺人事件
16. 犬猫先生のUFO推理
17. 殺人の棋譜
18. 女高生俳句殺人事件
19. 徒然草殺人事件
20. 赤富士殺人事件 (短)
21. 横浜山下公園殺人事件
22. イエス・キリストの謎
23. 函館宮崎日南殺人旅情
24. 乱歩幻想譜
25. 火の魔法陣
26. 金糸雀の唄殺人事件
27. 日美子の大予言
28. タロット日美子の列車殺人
29. 犬猫先生VS殺人鬼
30. 星の上の殺人 (短)
31. 黒部ルート殺人旅行
32. 風の魔法陣
33. 砂の沈黙
34. オロフレ峠の殺意
35. 宝石泥棒
36. 奥の細道殺人事件
37. 犬猫先生推理旅行記(短)
38. 神奈川県謎青色の殺人
39. 方丈記殺人事件
40. 横浜QE2号殺人事件
41. 河童殺人事件
42. 爆破都市
43. 熱海市殺人事件
44. 神戸五重トリック殺人
45. 香港マカオ休日殺人事件
46. 東京秋田殺人連鎖

### 「代表作」を選ぶのが難しい

齋藤栄は「代表作」を選ぶのが難しい作家だ。飛びぬけて傑作と思える作品がないのだ。以前の『代表作』の号では『飛鳥十字殺人事件』『殺意の時刻表』『赤蛇家の惨劇』を選んだ。世間的には『奥の細道殺人事件』や『火の魔法陣』などを挙げている人が多いようだが、私には今一つピンと来ない。

今回はデビュー作とも言える『殺

人の棋譜』と後期のトラベルミステリ『東北新幹線殺人旅行』の二作を取り上げてみた。『殺人の棋譜』は乱歩賞作品なので図書館の開架に並んでいることもある。

私としては『タロット日美子シリーズ』や『江戸川探偵長シリーズ』など気軽に読める作品が齋藤栄らしいと考えている。ミステリのレベルとしては高くないものの、娯楽作品と割り切って考えればそれなりに楽しめると思っている。

### 「殺人の棋譜」

1966年講談社。江戸川乱歩賞受賞作品。齋藤栄の代表作に挙げられることが多いが、私としてはそれほど高い評価をつけてはいない。作者得意の「将棋」の世界をテーマにした「誘拐もの」なのだが、後半の結論は期待したほどではない。

新進のプロ棋士・河辺真吾は将棋界の最高位挑戦者に決定した。ところがタイトル戦を目前にして、三歳の娘・麻里が誘拐されるという事件が発生。悩んだ末に警察に通報。刑事が自宅に隠密裏にやってきた時点で誘拐犯からの電話連絡が入る。「一千万円を用意しろ」。続いて「調布飛行場へ行ってセスナをチャーターする。…2時30分に離陸しなさい…」などと命令される。国道一号線沿いに飛び、地上からの合図でお金を投下したが…。警察も何とか犯人の隠れ場所まで探し出したけれども子ども姿を見つけることはできなかった。そして日時が経ち、タイトル戦の日がやってくる。河辺は気持ちを落ち着けて対局に…。

### 「東北新幹線殺人旅行」

1982年トクマノベルス。トラベルミステリの流れで、ちょうど開業したばかりの東北新幹線を取り上げた作品。最初の現場となる仙台の秋保大滝は私も学生時代に行ったことがある場所。観光地の秋保温泉からはさらに奥に位置するが、理科の地学専攻の私にとっては馴染みのある場所である。

物語の中心になるのは邦友学園の若い理事長・水石民夫なのだが、冒頭で起きるのは秋保大滝の滝壺で国会議員の広重紀代子が発見される事件。広重議員は一人で新幹線を使って盛岡に向かう途中、何者かに塩酸らしき液体をかけられる。被害はなかったものの仙台で下車し、秋保温泉に向かったようなのだ。広重議員の妹の知り合いだった水石が、事件の相談を受け、事件に関わっていくことに。一方、横浜では電器商の只野という人物が轆き逃げされる事件が起こっており、この事件との関りが展開を複雑にしていく。いくつかのトリックの組み合わせ…。